No.

ききょう times

第21号

発行
吉沢学園
98-1562
平成6年4月29日

南房総一泊旅行

　二月九日、十日の両日、吉沢学園では初めての試みとして、宿泊訓練が行なわれました。今回参加した園生は工芸班の男子五名と二棟の女子三名による小グループでの南房総への一泊旅行となりました。

　出発日、荷作りしたバックを大事そうに持ち、ワゴン車に乗りこんだ皆の顔には、ウキウキした嬉しそうな表情があふれていました。

　今回の目的地は"館山"南房総、と言えば、この時期は、どこもお花が一面に咲き誇っています。そこで皆もポピーやストックの花摘みに挑戦。"きれい"と言いながら両手いっぱいに摘みました。また、一日目は、館山ファミリーパーク二日目は、南房パラダイスの見学をし、色々な種類のきれいな草花やかわいらしい動物を見ながら会話も弾み、楽しい時を過ごしました。

　そして宿泊先の「いこいの村たてやま」では、皆料理に舌鼓をうち、大浴場に指導員と一緒に入りました。又、一人ずつ自宅に電話をかけ、それぞれに旅行の報告もしました。

　いつもと違う雰囲気の中で過ごした二日間、どの園生にも、日頃見られないような表情や行動が現われ新たな発見も多くありました。また帰ってくると、すぐに"楽しかった又、行きたい!!"という言葉が聞かれ、今回の旅行が皆の心に残る意義のあるものであったことを確信し、とても嬉しく思いました。

　今後も、社会の一員として、様々な体験をしながら、一歩ずつ、自立の方向へ成長していってほしいと思います。

お花見

　桜の花も、ちょうど見頃の四月七日、千葉県こどもの国においてお花見を楽しんできました。お天気にも恵まれ、園内の桜並木が風に揺れ、花吹雪が舞い散り、赤や黄色の花々が咲き、まさに、春一色という感じでした。

　芝生に腰をおろし、おいしいお弁当を食べた後は、アスレチックで体を動かしたり、ゴーカートに乗ったりとグループで、それぞれに楽しい一日を過ごしました。

旅の想い出

―尾崎　弘―

　一泊旅行に行って、よかったことは、お料理がとてもおいしかったことです。それから、ホテルのおふろで、頼野先生と体の流しっこをしたり、お湯がとても、気持ちよかったことです。一泊旅行は、ぼくにとって「とってもよかったなあ」と思っています。

館山ファミリーパーク

紹介

◆林　壽美子（指導員）

約十五年間、旅行業界の中で働いてきました。特に取り得はありませんが、好奇心は旺盛です。好きな本は推理小説です。また、海外に出た時は各国の料理本を買い集めるようにもなりましたが、今だに作ったことはありません。最近、車の運転を始め、近々名ドライバーになる予定ですので機会がありましたら誘って下さい。

◆小深山由紀子（指導員）

今まで育児休暇を頂いておりましたが、四月一日より、復帰することになりました。久し振りに園生の皆さんに会いましたが、名前を覚えていてくれて、とても嬉しかったです。この嬉しかった気持ちを忘れずに、園生の皆さんと携わっていきたいと思います。どうぞよろしくお願い致します。

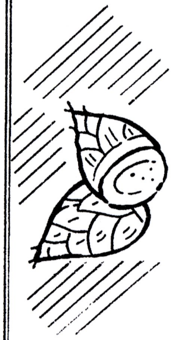
◆麻生　薫（指導員）

この春、短大を卒業し吉沢学園の指導員となり一ヶ月が過ぎようとしています。短大では、社会福祉専攻でしたが、実際に現場に出てみると毎日が驚きの連続です。まだまだ未熟な為、色々と御迷惑をおかけする事も多いかと思いますが、よろしくお願い致します。

◆小林　匡善（指導員）

今春、東京福祉専門学校社会福祉科を卒業し、吉沢学園にお世話になることになりました。

生まれは、長野県、松本市で一人暮らしを始めて早四年目、現在は、牛久でアパートを借りて住んでいますが、学園にくると一人暮らしの淋しさも紛れます。園生より若いですけど頑張ります。



御苦労様でした！

♥板倉　礼子（指導員）
♥野呂千恵子（〃）

いつも明るく園生に接して下さってありがとうございました。

編集後記

　平成五年度も終わり吉沢学園も満五歳を過ぎました。昨年度にひき続き個別指導や調理実習等を通して園生とのコミュニケーションを図っていきたいと思います。

コクヨ　コヒ－5D (64×44)